



私たちが普段よく言う電気の「コンセント」。一見英語ですが、実は全然違うんです。

アメリカ英語では (power または electrical) outlet、イギリス英語では (power または electrical) socket と呼ばれます。

ではなぜ日本で「コンセント」と呼ばれるようになったのでしょうか？

1920年代にヨーロッパのソケット(コンセント)は、中央に1本のポールとセンターを囲む2本のワイヤーで出来ていました。この形状を同心円、英語ではコンセントリックと言います。



このソケットが日本に輸入されたとき、同心円プラグまたはコンセントリックプラグと呼ばれ、それを略してコンセントという名前が生まれました。

今のコンセントの形はコンセントリックではありません。言葉だけが残っています。面白いですね！



A: Where can I charge my phone?

B: You can use the power socket over there.

A: スマホはどこで充電できますか？

B: あそこの**コンセント**を使って下さい。



「コンセント/consent」という単語は、実際には「何かをすることに同意する」という全く別の意味を表しますので要注意です。

⇒ポケットイングリッシュ、次回は9月9日(月)。お楽しみに！